

令和8年度ひみ未来づくりミーティング議事録（園地区）

日 時 2026/7/24 19:00～20:11
場 所 園コミュニティセンター
出席者 21名
市長、政策統括監 総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、
防災・危機管理監、消防監理監、地域振興課、地域担当職員
進 行 19:00～19:01 出席者紹介
19:01～19:03 市長あいさつ
19:03～19:31 市政の概要について（市長説明）
19:31～20:08 意見交換
20:08～20:11 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	■地域福祉活動サポーターについて 毎年10月と3月に委託料を入金していただいているが、助成金を含め、予算がギリギリの中で活動しているため、年度末にいただくと、その年度内での活動ができなくなる。入金の時期を夏頃と年末にしていただけませんか。	■市民部長 概算払いの時期を早めることができないか検討し、使いやすいものにしていきたい。
2	■学童保育について 窪地区と統合し、一緒にしていけばよいのではないかとこの噂を聞く。園地区には現在、学童保育の子供が30人いる。学童保育の統廃合について、基本的な考えや方針があれば教えてほしい。また、このコミュニティセンターの定員は消防法から最大36人なため、補助対象の人数について、下げていくことを検討してほしい。	■市民部長 市で積極的に統合を進めるという話は聞いていない。人数が少ない学童保育の補助単価が低いことに対しては、国や県にお願いしている状況である。また担い手の問題で各地区の方から、統廃合の噂が出てきている可能性が考えられる。 ■市長 29人以下になると国の補助単価が大きく下がる。子供の人数が少ない学童保育も地域にとっては大事なもので、それを守っていけるような制度設計を国や県にお願いしている。
3	■学童の職員について 現在、学童の職員は8人いるがほとんどが高齢者。夏休みになると、1日中子供の面倒を見ることになるが、高齢者にとって毎日働くことは難しい。半日ずつで働いてもらっても8人で回していくことが職員にとって負担となっている。求人募集を出しているがなかなか見つからないため、市の方から支援いただけないか。また支援員の資格を取るハードルが高い。以前は氷見市だけの条件があったがなくなった。もう一度、氷見市での条件を作るように検討してほしい。	■市民部長 学童の職員に対して人件費の補助はしているが、職員自体が足りていない。担い手不足であることはすべての産業にとって大きな問題となっている。学童保育の職員募集をしていることを市からもPRに努めていきたい。支援員の条件に関して、令和9年に国で改正を予定している。大卒で未経験の人は2年から1年に緩和されるが、それ以外の人は変わらず5年必要となるため、引き続き働きかけていく必要がある。 ■市長 自分も子育て時に助けられた身である。学童保育の運営が成り立っていくように進めていきたい。
4	■バスについて 免許返納が近づいており、車を手放した後の生活がどうなるかが不安である。駅周辺の活性化や芸術文化館ができたことは、氷見市の街づくりが進んでいて大変うれしいが、そこへ行く足がない。以前お願いした際は、仏生寺の方からの協力がないとコミュニティバスを出せないとの話だった。平地のみを巡回するコミュニティバスの計画はしていないのか。	■企画政策部長 市街地では走らせているが、園地区や神代地区では走らせておらず、交通空白地であることは認識している。現在、一部地域ではNPO法人を立ち上げて頑張っているが、高齢化もあり、法人の統合や効率よくバスを運行できるように検討しているところである。また市全体で、市民の移動手段をどのように守っていくかについて、全体的に検討を進めているところである。

5	■島尾海岸について 島尾海岸の監視員をしており、外国人や他県の方も多く来られる。訪れた人には海水を落とすところやトイレがないかとよく聞かれる。今は最低限としてホースを引っ張って冷たい水で落としてもらっている。また、公衆トイレはあるが、距離も遠く申し訳なく思っている。また、周りに比べ島尾海岸は地形が盛り上がり、崖のようになっているので、ゴミは溜まるし、座っている子供が監視場所から見えないので危ない。定期的にきれいにする機会を設けていただきたい。	■産業振興部長 自然景観を活かしたまちづくりには海水浴も大事な取り組みである。今年度中にまちづくりの計画を作っていく方針なので、ぜひ検討していきたい。また担当課に話してみよう。 ■市長 島尾の海水浴については、宮田地区からも意見があった。計画を作っていくとともに、より魅力あるものにするために考えていきたい。
6	■要望について ①園地内の「裏のため池」について、再び排水不全による水位上昇が確認される。加えて令和6年1月の地震被害による堤防全長のひび割れ状況が放置されているため、防災・減災の方策・方向性を示していただきたい。 ②園川堤防の決壊防止対策、除草や環境整備等の地域活動における足場対策について、現状認識等をご説明いただきたい。また、園川最下流の土だまりについて、以前、泥上げをしていたが、近々予算措置をつけ対処いただきたい。	■建設部長 ①地震被害によるひび割れについては現地確認を行い、今後は新しくシートを張りなおすように対応を進めていく。水位上昇については、地元の方からの相談もあり、時間がかかってしまったが、現在、廃止の検討を県と協議しているところである。 ②堤防の決壊防止対策については、現在、予算を取り発注しているところであり、河川工事は出水期が終わってから対応したいと考えている。また、柵については、今後延長していくために発注しているところである。草刈りの足場については現地確認を行い、大変危険な中で作業していることを理解している。足場を作ることは、多くの時間と費用がかかるため、機械の貸し出しによって対策できないか検討したいと考える。また、泥上げについても状況を見極めながら、少しずつでも対応していきたいと考える。
7	■竹林整備について チップパー機を氷見市から何度かお借りしているが、軽トラと一緒に借りることができれば良いと思う。また一周り大きい機械を用意していただきたい。	■産業振興部長 チップパー機に関しては、2つ追加し利用していただいているところだが、運搬に関しては、今後検討していきたいと考える。大きい機械に関しても、相場情報を確認し検討していきたい。 ■市長 氷見市は竹林が多いため、整備を進めていくべきと考えている。要望を受け止めて対応していく。